

Sustainable Report No.094

バラエティ番組から学ぶ コミュニケーションの姿勢

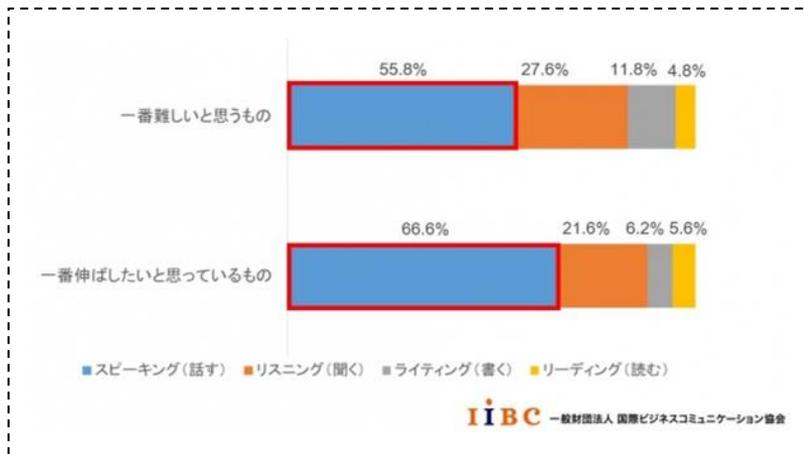


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

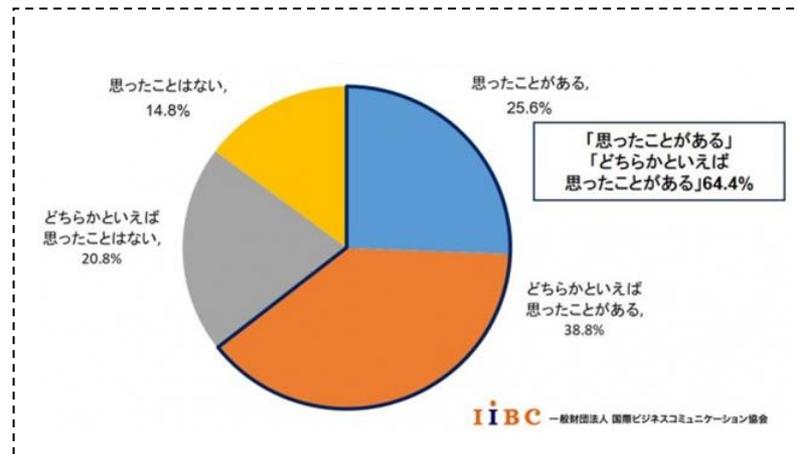
■ 課題の現状／経緯／影響

- 2023年10月の訪日外客数は251万人を超え、コロナ禍以降初めて、2019年同月を超えた。
- 英語学習をしている全国の20代～50代のビジネスパーソン500名を対象にした調査において、英語の4技能の内「話す」が一番難しいと回答した人は、最も比率が高い55.8%だった。
- 自身の英語の発音に自信がないために、「英語を話したくない」と思ったことがある人は64.4%にのぼる。
- 「一番伸ばしたい」技能もスピーキングであることから、日本人が外国人と会話する際に、ネイティブのように完璧に発音しないと恥ずかしいという固定概念に縛られているのではないか。

■ 英語4技能の中で、一番難しいもの、伸ばしたいものをそれぞれお答えください（調査結果）



■ 英語の発音に自信がないために「英語を話したくない」と思ったことはありますか（調査結果）



出典：左右ともに一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

▶NEXT：「出川イングリッシュ」から学ぶ会話の在り方

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 日本テレビ系列で放送されているバラエティ番組「世界の果てまでイッテQ!」は、別番組「はじめてのお使い」のパロディ企画として「**出川哲朗はじめてのおつかい**」を2015年より不定期に開催してきた。
- 企画主旨は、お笑いタレント出川哲朗が様々な国を訪れ、現地の人とのコミュニケーションを通じて、ローカルなミッションに挑戦していくものである。
- その片言英語は「出川イングリッシュ」と呼ばれ、**語彙力や発音が十分でなくとも恐れずに声をかけ、諦めずあらゆる角度に関連する単語を並べながら、身振り手振りでミッションの正解を導く**姿に評価が高い。
- 英会話を学習する一般的な場面では、話すこと自体が達成すべきミッションになっているのではないか。

■ ミッション例 (inアメリカ・ニューヨーク)

「噴水がある巨大地球儀の写真を撮れ！」

「錯覚博物館をレポート」

「みんなのささやきが聞こえる場所をレポート」

■ 出川イングリッシュ例

「ドゥユーノーリトルくるくるアース？」

「アイズハプニングミュージアム」

「アイラビューアイラビューあいらびゅー
サイトシーイングポイント？」

出典：[日本テレビ](#) 番組公式情報より

▶ NEXT : 「英語力」から「コミュニケーション力」へ価値変換

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 言語を学ぶことは国際社会の中で重要だが、それはあくまで手段であり、**会話を通じて自身のミッションを達成する意思**が問われる。
- ネイティブのように発音できなくても恥ずかしがらず、伝える選択肢が複数あることを認識し、まずは**相手が親身に耳を傾けたいような「人與人」の関係を築く**誠実な態度が理想である。
- 企業では、業務がミッションであると明らかだ。そのため、多国籍な人材雇用によって、個人の英語力に留まらず**組織としてコミュニケーション力をいち早く向上**できると考える。

■ 在留資格別外国人労働者数の推移 (単位：千人)



出典：厚生労働省

■ ダイバーシティのイメージ



画像：illustAC

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- IIBC, 「英語のスピーキングに関する実態と意識」 調査結果を発表ビジネスパーソン、英語で話すことが「好き」85%、「苦手」52% ,2020年6月8日
(<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2020/p141.html>)
- 日本テレビ, 「はじめてのおつかい in アメリカ・ニューヨーク」,2023年11月19日
(<https://www.ntv.co.jp/q/articles/3049vni081yx16k0j41.html>)
- 厚生労働省, 「「外国人雇用状況」の届出状況まとめ【本文】（令和4年10月末現在）」,
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/001044543.pdf>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。